

奉仕に励む活動を終えて

女性部

おはようございます。今日5月11日(木)は、女性部による雑巾縫製奉仕の日です。藤崎老人福祉センター集会室には部員22名が集まりました。
「お久しぶり、お元気？、今日は宜しくね」等の挨拶を交わし和やかに参加してくれて、とてもとてもうれしい限りです。

お隣同士糸通しを手伝ったり、近況を話し合った、用意されたカンデーを見てこれ何味？・チョコかな？など、お好みの物を頼張っていました。
参加者の多くは普段手仕事しているようでとても手際よく、一針ひとりは針刺しして用意した材料は、お昼前には殆ど仕上がりました。

お弁当の時間です。口々に「美味しいお弁当だね」……その時、スマホから音楽が流れてきました。「いいですね」

自主的に家で作ってくれた雑巾が何枚もありましたので、合わせて280枚も出来上がりました。
山のように積まれた雑巾を前にして写真をパチリ。今回も皆さんのご協力ありがとうございました。
後日、出来上がった雑巾は、藤崎町の各々のご家庭に贈呈しました。

会員の方々に厚く感謝申し上げます。

追記

女性が地域の単位クラブに入会されますと、加入者全員が老連女性部の部員となりますので、女性部主催の各講座や行事等には、お誘い合わせの上、是非お気軽にご参加下さるようお願いしております。



発行者 藤崎町老人クラブ連合会 藤崎老人福祉センター内 電話 0172-75-3232 Fax 0172-75-2128

老連会長杯グラウンドゴルフ大会の結果

第9回老連会長杯グラウンドゴルフ大会

総合優勝は木場健二さん

6月15日(土)快晴のスポーツ日和。参加者38名(グラウンドゴルフ部員26名、一般参加者12名)が集合し、福島地区の「子どもの森公園」で老連会長杯グラウンド・ゴルフ大会が開催された。会員の親睦・町民の交流と老連の活性化を目的に毎年開催している。準備体操で体をほぐし、開会式では館山老連会長及び葛西鉄美グラウンド・ゴルフ部会長から開会の挨拶があった。その後参加者全員で記念撮影をし、9時、参加者最高齢(92歳)間山由吉さんの笛の合図で競技が開始された。

競技は8ホールを3回まわり24ホールで争われた。プレイしながら失敗すると「昨日リハーサルしたばて、なかなか思うようにはいかねえな……!!」

16ホールが終わって10分間の休憩時間、会話の中でも「毎日こ子ども森公園で9時から正午頃まで練習している。なんぼ暑くても、自分に勝つぞお」と言い聞かせると頑張られる。健康に随分役立つている」「オリンピックと同じ、年に1回だア……一回だおなア……!!」

Table with 4 columns: Rank, Name, Score, and Points. Title: グラウンド・ゴルフ部員の部

24ホール終わっての成績結果はグラウンド・ゴルフ部での優勝は木場健二さんで総合優勝杯を獲得した。木場健二さんのコメントは「初めてでとてもありがたいがとうございました」

Table with 5 columns: Rank, Name, Score, 1st Hit, 2nd Hit. Title: 一般参加の部

7月行事予定表. Table with 4 columns: Day, Event, Time.



女性部健康講話 コーディネーショントレーニング 楽しく心身をリフレッシュ

- 一、日時 7月11日(木) 10時30分
二、場所 藤崎老人福祉センター 集会室
三、講師 C・T指導員 乗田 俊子氏
四、服装等 運動が出来る服装で、タオル・飲物等をご持参下さい
五、申込締切 7月8日(月)
六、申込先 藤崎老人福祉センター 窓口まで

第4回自動車免許証更新前の認知機能検査相談会のお知らせ

認知機能検査相談会も第4回目となりました。この相談会経験者からは真に好評で、免許更新試験では不安もなく受験出来たと言う声も多く、お陰様で100%の方が合格しております。
現在、75歳以上の方は、認知機能検査を受けなければならなくなりました。不合格の場合、運転免許の取消しや自主返納などにつながります。
他方、公共交通機関が減便されたり、廃止され高齢者になっても車を手放す事が出来ない状況です。
・免許更新はまだ先だが、今の実力を維持する方法はないか(70〜74歳でもOK)
・自主返納した方がいいのか
・今回免許更新はあきらめた方がいいのかなどと悩んでいる方は、気軽に相談(練習)においで下さい。(車を使った講習ではありません)

- 一、講師 行政書士 田中Bn事務所長 田中 敏春氏
二、日時 7月27日(土) 午前10時〜12時
三、会場 藤崎老人福祉センター集会室
四、参加人数 1回当たり15名
五、参加費用 (練習用資料等) 五〇〇円 (当日集金します)
六、申込締切 7月20日(土)
申込先 藤崎老人福祉センター 窓口まで
常盤老人福祉センター
◇申込用紙は両センターに準備しています。

老いを愉しく

第四回

元ときわ会病院長 永山隆造

《人の本能 その一》

今回は前回書いた「霊の本能」や「肉の本能」と「生きる愉しさ」の関係を考えますが、まず判り易い「肉の本能(肉体の本能)」から考えてみます。

生まれながら持つ五感「視・聴・嗅・味・触」は主として体を動かすので「肉の本能」とされます。

原始人の生活は、視覚で敵や獲物を見定め、聴覚で猛獣や狩の獲物の音を聞き、嗅覚で獲物の方角や食物の腐敗を確かめ、味覚で食物の良し悪しや毒などを知り、触覚で痛みや硬さを知り、テレビで見ると野獣のように五感をフルに働かせて、その日その日の食料を得る余裕の無い生活だったと思います。

ところが原始人から進化した縄文人は本能の五感を発達させ、食料の貯蔵や植物の栽培を覚えたので生活に余裕が出来ました。この「余裕」が縄文人により高度な「愉しみ」を与えたと考えられます。

その一例として、余裕の無い生活での煮炊きは単純な土器で良いはずですが、生活に「余裕」が出来た縄文人は芸術度の高い火焔土器を作り上げました。火焔土器を作る人は狩に行かずに土器作り専門の職人となり「より美しく見え、より堅い土器を作りたい」などの「欲」を持ったと思います。土器職人は土器を作る過程に愉しさを感じ、美しく堅い土器を焼き上げた時に喜びを感じたことでしょう。

人が生きるために五感を持って生まれましたが、五感を働かせる「欲」が無いと死んでしまいます。

五感に「欲」が結び付くと、見たい、聴きたい、嗅ぎたい、味わいたい、触りたいなどとなり、「花を見たい」などの「欲」の目的を達成するために体が動き始めます。そして目的を達成する過程を愉しく働くことを昔から「いそしむ」と言ってきた人は「欲」を持って働くことが愉しく、欲が達成された時に喜びを感じます。

年を取ると体も動かなくなるので「欲」も少なくなりませんが、老いを愉しく生きるには何か目的を持つことだ大切だと思います。

今回は「霊の本能」の愉しさを考えましょう。

※今回から「楽」を「愉」に変えました。愉の意味は「不快な心を抜き取ったのしい」という意味です。(新漢語林より)

常盤ひとり旅

第十五回

石澤清五郎

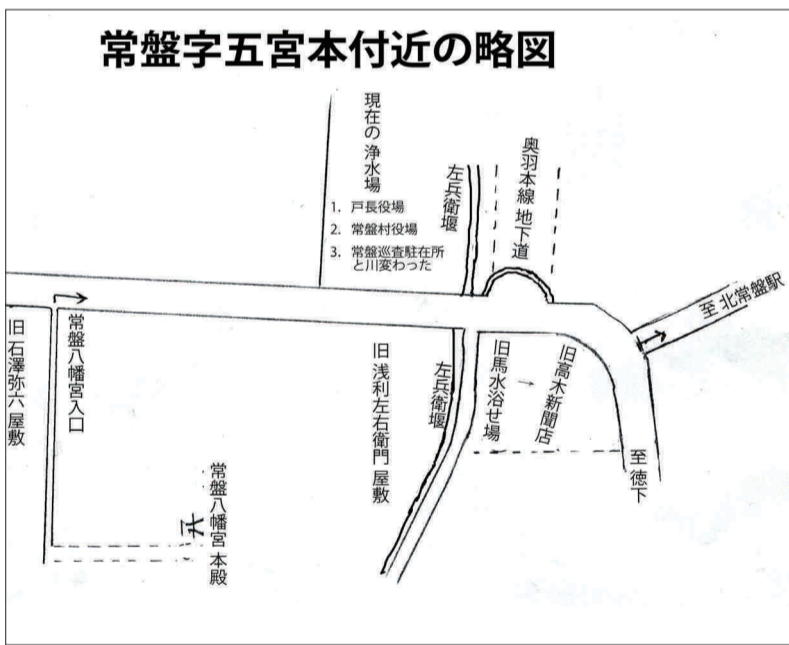
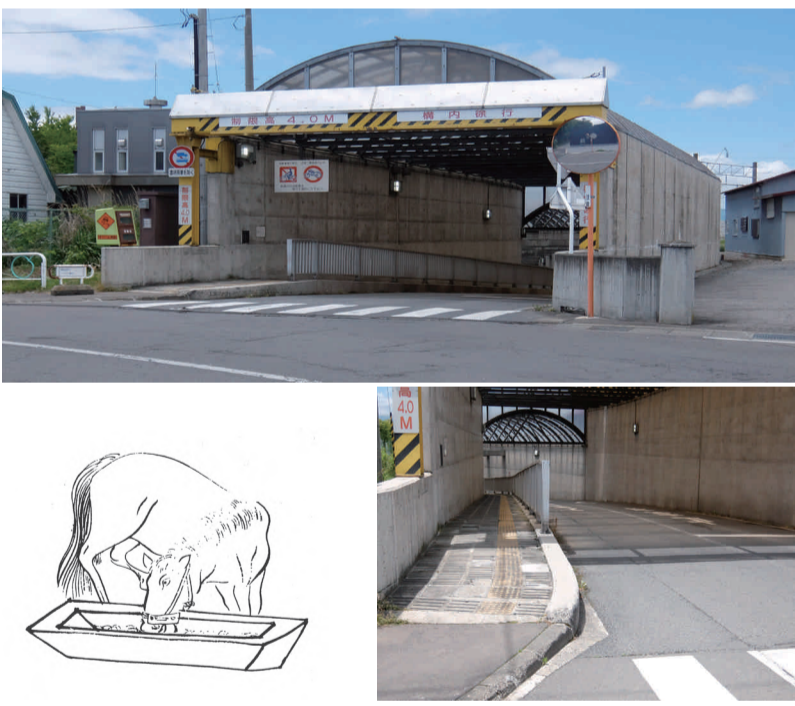
常盤八幡宮を後に左折すれば石澤弥六屋敷で、右折して北常盤駅の方に向かう。右隣は浅利右衛門屋敷で、道路に面した防火水槽の傍に高さ三十センチ位の自然石があり(平成十年頃から無くなった)

その石に「文久三年(1863) 亥年正月 浅利右衛門立、西国三十三所、伊勢大明神、金毘羅大権現」と二重に深く、そして浅く刻まれてあった。二回参拝した意味と解したが、形がなくなった今では再確認は不可能となった。写真を撮り中央公民館に預かったつもりだが行方不明。津軽藩日記の元禄六年(1694)五月十七日付並びに五月二十五日付に「常盤村の百姓九左衛門と申す者の女房、右九左衛門、第三左衛門、伊勢参宮願い通り仰せ付候」とあるが、浅利家のことなのか、171年の隔たりがあるのでは別人か。伊勢参りの記念碑は福館にもあったことを平成十年七月号に記した。村内にもう一カ所あったと思っていたがボケて忘れてしまった。金毘羅碑の横を前月記した片目の雑魚が住んでいたという堰が走っている。左兵衛堰と聞いたこともあったが、だとすれば、元禄三年(1690)十一月十日の津軽藩日記に「・・・常盤堰より左兵衛堰に三寸の口付分水被仰付候共・・・」また後日の記録に「富柳村に用水堰は壱筋も無之然に常盤村の者共故無く堰畔切り破り・・・用水ひとつ相流さず付・・・」とあり、常盤にとつては水盗に便だが富柳では命の堰だ。この堰なのか?その向かいには明治一六年の郡区組織替えした時、常盤村外六カ村(常盤、中島、小畑、榊、若松、徳下、福島)戸長役場がおかれ、明治二十年の市町村制により常盤村(常盤、若松、榊、徳下、福島)役場の位置となった。

昭和の町村合併で、常盤村役場支所と変わり、浪岡警察署常盤巡査駐在所、そして常盤村役場水道課から現在の浄水場となっているが、そもそもは須藤彦太郎という人から買入れた場所だという。足を進めるとかつては小さな坂であったが、今は平地となり左側は読者各位が知っているとおり。

昭和五十九年度農村総合モデル事業として全長約二百メートルで七億七千万有余円を投じ、昭和六十四年(平成元年)一月一日常盤八幡宮年繩奉納

行事によつて渡り初め式で開通したJR線地下道入口、右側は馬の水浴場(みずあぶせ場と称していた)や水稲種籾を漬ける池でもあったが、昭和四十年代と思うが道路改修の際埋め立てられた。



◆ 歯なしの話 148 ◆

八代亜紀さん 佐藤 透

1月10日のスポーツ紙の一面は八代亜紀さん死去のニュースである。昨年の12月暮れにお亡くなりな

なったそうで、時期が時期なので一般の方達に気を使ったのかなあと想像する。

良い歌を歌っていたので好きな歌手の一人であった。もう一つは私と同じ歳であると言うことが気になった。いつか書いたことがあったかも知れないが60〜70代で(50〜60代だったか?)大病しなければ90歳や百歳まで生きられると!! 死因は膠原病の一種で急速な呼吸困難を引き起こす間質性肺炎。酸素と二酸化炭素が交換される肺胞の壁(間質)に障害が起きる病気である。それが急速に悪化したと考えられる。膠原病は自己免疫疾患でリウマチや多くの病気があります。膠原病は不明の事も多いのですが、近年では種々の治療法が創案されてきております。

八代さんは戦後生まれで、朝鮮戦争もあり好景気となり、やや日本の国の経済なども徐々に発展し、良くなった頃に生活してきた、どちらかと言うと戦前生まれの方達より幸せな環境にいたのが我々の年代であると思う。しかし、病気と言うのは気を付けても、気を付けてもどうにもならない場合もあるのが現実です。今どきでは百歳と普通に言われている時代にあっても、尚、避けられない病気・事故等は存在するのです。まずは我々は可能な限り注意をする事で、体を動かすことや食事習慣等を見直し、大病にならない、また悪化させないことが必要なことなのではと考えます。

どうにも湿っぽくなってしまいました。八代さんの為に我慢して冥福を祈りましょう。

短歌

異世界に嫌われものの人社会

未来暦も人間知らぬ

風五月白き詰襟おはように

応えた声はボーイ・ソプラノ

見棄てられ未完のままの環状列石

あおぐ岩木嶺匂う山藤

認知症介護施設の妻も老い

無口と視線そらすむなしさ

浅利 茂雄

藤村 みち女

海野 比呂子

清水 稼志男